

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
講義	1年	2単位	必修
担当教員			
井田 裕子			

講義概要	①生命の誕生にふれる こどもの保健をめぐる動向を知る 家族やこどもを取り巻く社会に触れてこどもの保健をとらえる ②生理機能・運動機能・精神機能の発達の特徴をとらえる ③機嫌・食欲・睡眠・活動などの変化に気づく バイタルサインの測定を理解する 健康状態を把握することなどから観察の重要性をとらえる ④主な症状（発熱・咳嗽・腹痛・下痢・嘔吐・脱水など）への対応 慢性疾患をもつこどもへの対応 感染症のこどもへの対応から観察点や看護を理解する ⑤発達段階における事故の原因をとらえる 事故の実際と事故防止について考える 保育環境についてとらえる
------	---

授業計画	1 はじめに 生命の誕生、こどもの保健とは 2 こどもの健康と保育の意義 こどもの保健をめぐる動向、こどもや家族を取り巻く社会 3 こどもの発育と発達の基礎理解 こどもの臓器と生理機能の発達と特徴 4 こどもの発育と発達の基礎理解 こどもの精神・運動機能の発達と特徴 5 こどもの病気と看護 こどもの健康状態の把握、観察の重要性（機嫌・食欲・睡眠・活動など） 6 こどもの病気と看護 体温・脈拍・呼吸の測定および留意点 7 主な症状に対する看護 発熱・咳嗽時の観察と看護 8 主な症状に対する看護 腹痛・下痢・便秘時の観察と看護 9 主な症状に対する看護 嘔吐・脱水時の観察と看護 10 慢性疾患をもつこどもへの対応 食物アレルギー、喘息、糖尿病、慢性心疾患 11 こどもが遭遇する感染症への対応 感染症（麻疹・インフルエンザなど） 12 薬について 使用時の注意、薬の使い方（散薬・水薬・坐薬など） 13 こどもの精神保健 こどもの心への健康 14 こどもの環境と安全 発達段階における事故の要因と現状、事故防止 15 こどもの環境と安全 保育環境について、おもちゃや設備の消毒法・手洗いなど
------	--

授業形態	講義
------	----

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①こどもの心身の健康と保健の意義が理解できる ②こどもの生理機能や精神・運動機能の発達が理解できる ③こどもの健康状態把握および観察の重要性が理解できる ④主な症状に対する観察点や看護が理解できる ⑤子どもの環境と安全について理解できる 授業終了後の筆記試験、課題の提出、学修の取り組みや態度を総合して評価をおこなう。 筆記試験（80%）、課題の提出（10%）、学修の取り組みや態度（10%）
--------------------	--

教科書・参考書	テキスト：『子どもの保健 I』 『子どもの保健 II』 佐藤益子 編著 ななみ書房
---------	---

履修条件	
------	--

履修上の注意	
--------	--

オフィスアワー	授業の前後で対応します。
---------	--------------

備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
----------	---